

第118回 科学技術部会	資料 1 - 2
令和 2 年12月 9 日	

令和 3 年度 厚生労働科学研究費補助金（一次公募）課題（案）一覧

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
政策科学推進研究事業 (AA)	保育所における個別の配慮や支援を要する保護者等への効果的な子育て支援のための研究 (AA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所における子育て支援について、実態(特に対応の困難な事例や特別な配慮を要する事例における支援の展開過程)、特性や構造、現行の保育士養成及び現職研修等の内容、国内外の先進的取組の好事例等を把握、整理した上で、保護者及び家庭の状況と支援のフェーズに即した各支援主体(保育士、保育所の管理職、関係機関、自治体)の役割や支援に際しての具体的な留意点等を明らかにする。 ・保育所における子育て支援について、対応の困難な保護者への支援を中心に、基本姿勢(職員個人及び組織のリスクマネジメントを含む)、支援の展開に関する知識・技能(アセスメントを含む)、保育所内外の連携体制(地域における保育所への支援を含む)等に関するツール、マニュアルを作成する。 ・保育所における子育て支援に関するツール、マニュアルを活用した保育士及び管理職向けの研修プログラムの試行検証を行うとともに、効果的な子育て支援に資する地域内の連携体制構築・充実のための自治体担当者向け周知資料を作成する。 	10,000	1	3
統計情報総合研究事業 (AB)	患者調査の効率的な実施手法の確立に資する研究 (AB-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・負担軽減の観点での調査手法の改善案検討のための基礎資料の作成 ・主傷病のコーディング等の集計手法の効率化の検討に資する基礎資料の作成 ・多くの医療機関で導入可能なICTツールの開発内容の提案 	4,000	1	2
研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	大規模データの利活用研究の加速のための研究 (AC-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・認定匿名加工医療情報作成事業者が提供する匿名加工医療情報の種類、作成手法等の調査を踏まえた、国内で利用可能な匿名加工医療情報の特徴に関する知見 ・匿名加工情報及びICT/AIの技術革新を利用した研究、調査(例えば、AIを活用したプログラムの開発又はビッグデータの解析による知見の創出)の実現可能性の検証 ・匿名加工医療情報の利活用の技術的課題の抽出及びその解決策の提案 	10,000	1	2
	ICTを用いた医師の労働時間短縮に向けた取組の推進に資する研究 (AC-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・医師の詳細な勤務実態 ・上記を踏まえた医師の労働時間短縮に資する革新的な取組の提案及び検証 ・医師以外の医療関係職種を対象とした医師の労働時間短縮に資する知見の創出 ・看護の業務管理システムを例として、医師の労働時間短縮に資するような医療関係職種における業務管理システムの構築及び、実用可能性の検証並びに、活用のガイドライン作成 ・医師の客観的な労務管理に資するICT基盤の構築 	30,000	1	3

臨床研究等ICT基盤構築・人工知能実装研究事業 (AC)	ICTを利用した医学教育コンテンツの開発と活用に向けた研究 (AC-3)	<ul style="list-style-type: none"> コアカリキュラム等で定められた症例について、動画、音声等の医学情報を取り入れたシナリオ・コンテンツの標準化を図り、pre/post GC-OSCEや臨床実習教材として大学等の機関間において連携して活用し、また、それを安定供給できる整備体制を構築すること。 医師国家試験において、より実臨床に即した問題の出題に向け、マルチメディアを活用したCBT化のためのプラットフォームを作成すること。 	10,000	1	3
	ICTを基盤とした卒前卒後のシームレスな医師の臨床教育評価システム構築のための研究 (AC-4)	<ul style="list-style-type: none"> 臨床教育評価のデータを解析し、臨床実習や臨床研修が行われた地域やローテーション等評価に影響を与える要因を多面的に検証し、評価システムの構築や改善に活かすこと。 実習ならびに研修到達目標の達成度の検証から、設定した到達目標や評価の信頼性、妥当性を分析し、継続的な評価システムの検証と改善のための整備基盤を確立すること。 臨床実習における侵襲的医行為の評価方法を確立し、臨床研修にて行う臨床手技との連続的な習得度評価を具現化するための仕組みを構築し、評価システムへ反映させること。 シームレスな臨床教育評価を実践するにあたり、指導医評価が効果的に機能するような実効性の高いシステムを構築すること。 臨床実習や臨床研修におけるシームレスな臨床教育評価システムについて、海外のシステムや教育効果を比較し、評価システムの構築や改善に活かすこと。 	10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
地球規模保健課題解決推進のための行政施策に関する研究事業 (BA)	保健分野における、新型コロナウイルス感染症や、三大感染症等に関する国際機関への我が国からの戦略的・効果的な資金拠出と関与に資する研究 (BA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 現在日本政府が関与している複数の感染症関連の国際機関や団体の会合文書の分析や活動内容に関する研究、受益国の分析の結果。 その他の感染症関連の国際機関・団体の活動内容や実績の分析の結果。 現在拠出を行っている感染症関連の国際機関・団体に対する効果的・戦略的な拠出と関与方法の提案。 製品の研究開発から供給に至るまでに関わる、保健分野における国際機関・団体の関係性が相関図で表現された上で、新たに関与を検討すべき機関・団体の特定、かつ、それらへの効果的な関与方法の提案。 	14,000	1	3
	諸外国のUniversal Health Coverage(UHC)達成の進捗状況の評価、及び我が国主催の保健に関する国際会議における主導的役割の成功のための研究 (BA-2)	<ul style="list-style-type: none"> WHO西太平洋地域事務局加盟国を中心としたアジア地域における各国のUHCの進捗状況等の分析。 アジア地域におけるSDG3.8達成にむけた課題及び改善策の提言。 我が国が主催する保健に関する国際会議における課題への改善案の提言。 我が国が主催する保健に関する国際会議における技術的支援(国際的に発信する際の資料を含む) 	8,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	身体的・精神的・社会的 (biopsychosocial)に乳幼児・学童・思春期の健やかな成長・発達をポピュレーションアプローチで切れ目なく支援するための研究 (DA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 妊娠届の提出時、妊婦訪問、新生児家庭訪問、乳幼児健診に使用するためのbiopsychosocialな客観的評価ツールの開発 上記ツールのモデル実施及び母子保健と家庭福祉の連携への効果の検証、評価精度の向上、課題抽出、好事例の抽出 乳幼児健診の標準化・質の向上のための方策の検討 学童思春期健診のマニュアル作成とモデル実施、効果の検証、全国展開に向けた課題抽出 ポピュレーションアプローチで切れ目なく支援するための体制整備 	25,000	1	3

健やか次世代育成総合研究事業 (DA)	成育基本法を地域格差なく継続的に社会実装するための研究 (DA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 成育過程にある者等に関する課題の実態把握や、本基本方針に基づいた施策の評価を行うための指標の作成及び目標値の設定 ・ 上記指標をフォローアップするシステムの構築 ・ 上記システムを用いた指標及び施策の実施状況のモニタリング ・ 次期成育基本方針の作成に向けた検討 	15,000	1	3
	生殖に関する正しい知識の普及啓発、不妊治療に係る情報提供の標準化のための研究 (DA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生殖に関する一般向けの情報提供資料の作成 ・ 不妊治療実施医療機関における標準的な情報開示の方法についての提言 ・ 患者個人に提供する不妊治療に関する記録形式についての提言 	15,000	1	3
	妊婦健康診査、産婦健康診査における妊産婦支援の総合的評価のための研究 (DA-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 妊産婦、パートナーを対象とした周産期のメンタルヘルスケアに関する情報収集とメンタルヘルスケア向上に向けたプログラムや資料の開発 ・ 妊婦健康診査や産婦健康診査を通じた適切な妊産婦支援の方法についての提言 	15,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
がん政策研究事業 (EA)	がん登録を利用したがん検診の精度管理方法の検討のための研究 (EA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ がん登録を利用したがん検診の精度管理の現状把握及び課題(個人情報の取扱い、データ照合、データ解析等)の整理 ・ がん登録を利用したがん検診の精度管理指標の設定と正確な解釈の検討 ・ 精度管理手法の運用方法の提案 	8,000～ 12,000	1	2
	子宮頸がん検診におけるHPV検査の導入方法の検討のための研究 (EA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体においてHPV検査を含む子宮頸がん検診を実施するための課題の整理 ・ 日本でHPV検査を用いた子宮頸がん検診を実施する際の運用方法(対象者の設定、受診間隔、検査陽性となった場合のフローチャート、精度管理体制等)の提案と、同検査を実施する際に留意すべき事項の抽出(HPV検査単独法、細胞診とHPV検査の併用法のいずれの検査方法についても言及すること) 	8,000～ 12,000	1	1
	小児がんの子どもに対する充実した在宅医療の体制整備のための研究 (EA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児がん拠点病院等を受診した小児がんの子どもとその家族、在宅医療(自宅、病院以外を含む)にかかわる多職種の参考となる事例集等を作成する。 ・ 小児がんの子どもとその家族、多職種を対象に、在宅医療の希望や在宅医療について知りたい情報等にアクセス出来る方法を提案する。 	4,000～ 6,000	1	2
	高齢者がん診療指針策定と指針普及のための研究 (EA-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外から高齢者がん医療に関する質の高い臨床研究によるエビデンスを収集し、関係団体等と協力しながら高齢者がん診療指針を策定する。 ・ 高齢者がん患者の診療指針作成を通じて、この分野に精通した人材を育成する。 ・ 策定した高齢者がん診療指針を拠点病院等の医療従事者へ普及啓発する方策について提言する。 	8,000～ 12,000	1	2
	がん拠点病院間の支持療法の均てん化の実現に資する研究 (EA-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点病院等で支持療法への取組を推進するため、これまでの実態調査や手引き・ガイドラインを整理する。 ・ 支持療法が、病院及び地域ごとに差がなく実施されるためのモデルプランを実施・検証する。 ・ 支持療法の均てん化を推進するための、適切な診療の実施方法を提案する。 	8,000～ 12,000	1	2

がんリハビリテーションの均てん化に資する効果的な研修プログラムの策定のための研究 (EA-6)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の社会復帰や社会協働という観点を踏まえた、がんリハビリテーション研修プログラムの評価と更新。 ・研修プログラムを実施し、臨床現場における有用性を踏まえた検証を行い、適切な診療の実施に向けた提案を行う。 	8,000～ 12,000	1	2
がん患者の自殺予防プログラムの開発に向けた研究 (EA-7)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者の自殺におけるハイリスク要因を含む実態把握。 ・がん患者の自殺予防のための効果的な介入方法の検討とプログラムの開発。 ・遺族やかかわったスタッフの心理的ケアプログラムの開発。 	8,000～ 12,000	1	2
がん全ゲノム本格解析の実行を推進するための体制整備のための研究 (EA-8)	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者がその真の希望に、より近い治療ができるよう全ゲノム解析を実施し、医療現場で使用できるようにするとともに、様々な研究や創薬等に広く活用可能な質の高い全ゲノムデータベースを構築し、産官学一体となって次世代のがん医療を提供するための体制の構築。 ・患者の診断や治療に有益と考えられる情報が得られた場合には、積極的に還元が可能となるシステムの構築。 	15,000～ 20,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	健康寿命延伸を目指した禁煙支援のための研究 (FA-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な禁煙支援方法の効果に関するエビデンスレベルの提示 ・効果的かつ持続的な禁煙支援方法の優良事例集の作成 	5,000	1	2
	現代の社会生活に応じた適切な睡眠・休養取得のための行動変容促進ツールの作成及び環境整備のための研究 (FA-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣、睡眠環境、健康状態等の因子が、睡眠の質に与える寄与度を評価する。 ・自らの生活習慣等を振り返ることを可能にするツールとして、生活習慣等の睡眠に与える寄与度を基にしたチェックボックス等を作成する。 ・ウェアラブルデバイスやアプリケーション等の普及状況も鑑み、より適切な睡眠管理のためのこれらのデバイスの活用方法について提言を行う。 ・主に勤労世代が適切に睡眠を含む休養が行えるように、職場等における取組を整理するとともに、睡眠のプレゼンティズム等への影響を明らかにし、これらの取組を促進する方策を体系的に整理するとともに優良事例を提示する。 	8,000	1	3
	糖尿病など生活習慣病対策の地域格差の把握およびその改善のための研究 (FA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国規模のデータベース等の構築により、糖尿病等の生活習慣病患者の都道府県毎の治療状況および都道府県格差を把握する(各都道府県で診療所を含む5施設以上、各施設10人以上の症例の登録が望まれる) ・格差是正のための介入を提案・実施し、その介入に伴う各施設での治療状況の改善度を示す資料を提示する ・上記資料をもとに、糖尿病をはじめとする生活習慣病の診療の均てん化、地域格差改善のための提案を行う 	5,000～ 7,000	1	3
	特定健康診査・特定保健指導における問診項目の必要性、妥当性の検証、及び新たな問診項目の検討のための研究 (FA-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・直近の健診に関する先行研究の方向性及び研究成果を踏まえ、また関連学会とも連携し、問診項目の見直しのためのエビデンスを構築する。 ・第4期特定健診等実施計画の策定に向けた議論に資するよう問診項目について検討を行い、次期「標準的な健診・保健指導プログラム」健診・保健指導プログラムに反映させるための知見を提供する。 	5,000	1	3

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 (FA)	新しい生活様式における適切な健診実施と受診に向けた研究 (FA-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい生活様式に対応した健診実施方法及び健診項目の必要性・妥当性について検討し、次期(2024年度予定)「標準的な健診・保健指導プログラム」の改訂において反映させるための知見を提供する。 ・健康診断実施時における感染対策の課題の整理及び既存の感染防止マニュアルの改訂に資する基礎資料の創出を行う。 	7,000 ~ 9,000	1	3
	地域住民を対象とした生活習慣病予防等健康づくりの推進のための栄養・運動・休養複合型プログラムの開発に向けた基礎研究 (FA-6)	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養・運動・休養複合型プログラムの優良事例、効果に関する資料の作成 ・栄養・運動・休養複合型プログラム案の作成 	17,000	1	3
	管理栄養士養成施設における管理栄養士の卒前・卒後教育の充実にに向けた研究 (FA-7)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理栄養士養成施設における養成教育及び卒後教育に関する実態と課題の整理 	6,000	1	2
	大規模感染症等による食生活と社会経済的要因の解明のための研究 (FA-8)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症流行による子どもや親の栄養・食生活の変化を改善するための社会基盤整備に資する基礎資料の把握 ・子どもの栄養・食生活を改善するためのアセスメントシート及び支援ツールの作成 	5,000	1	2
	健康無関心層の類型化に基づく効果的な保健指導手法の確立のための研究 (FA-9)	<ul style="list-style-type: none"> ・健康無関心層にある保健指導対象者の背景を類型化することによる、対象者に応じた情報通信技術(ICT)の活用を含めた保健指導の手法を確立する。 ・類型化に基づいた対象者に応じた保健指導を行う上での留意点を整理する。 ・第4期特定健診等実施計画の策定に向けた議論に資するよう、次期「標準的な健診・保健指導プログラム」の改訂に反映させるための知見を提出する。 	5,000	1	2
	循環器病の再発、重症化、QOL低下予防に資する手法の確立のための研究 (FA-10)	<ul style="list-style-type: none"> ・循環器病の再発、重症化、QOL低下予防を見据えた、循環器病発症後の疾病管理手法について検証した資料 ・脳卒中患者や心不全等の心血管疾患患者の慢性期管理に係る医療者や患者等の負担の現状を示す資料 ・循環器病の効果的な疾病管理及び医療者や家族等の負担軽減に向けた方策のまとめ 	8,000	1	2
	循環器病対策推進基本計画に基づいた、都道府県の有用な目標指標の設定のための研究 (FA-11)	<ul style="list-style-type: none"> ・各都道府県における循環器病対策推進計画のレビューとまとめ ・各都道府県の計画において重要性が高いと考えられる個別施策及び指標の抽出とまとめ ・第2期循環器病対策推進基本計画に向けた、個別施策の目標となる指標とその根拠となるデータ ・上記で挙げた目標指標の達成のために必要とされる研究のまとめ 	7,000	1	2
	循環器病に係る急性期から回復期・慢性期へのシームレスな医療提供体制の構築のための研究 (FA-12)	<ul style="list-style-type: none"> ・脳卒中、心血管疾患それぞれについて、急性期から回復期、慢性期へとつながる医療提供体制について、現状と課題について整理しまとめたもの ・循環器病の疾患特性を踏まえ、地域包括ケアを更に推進するために必要と考えられる方策についてのまとめ ・上記を踏まえた、都市部及び郊外等、地域の特性に応じた循環器病の診療提供体制構築に向けた方策のまとめ 	10,000	1	2
成人期における口腔の健康と全身の健康の関係性の解明のための研究 (FA-13)	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の健康・医療情報等について、データ収集及び分析を行い、特に成人期における歯周疾患等歯科疾患と循環器病等の発症との因果関係等、口腔の健康と全身の健康の関係性についての因果関係等について明らかにする。 ・口腔の健康と全身の健康の関係性を踏まえた、全身の健康にもつながる歯科疾患予防のための施策の検討及び提案等を行う。 	7,000 ~ 9,000	1	2	

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
女性の健康の包括的支援政策研究事業 (FB)	保健・医療・教育機関・産業等における女性の健康支援のための研究 (FB-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の健康に影響を与え得る社会決定要因等の把握に基づく支援方策に関する基礎資料の作成。 ・分野横断的で効果的な支援方法の開発や、保健・医療・福祉・教育・産業・地域等のシームレスな連携体制の構築につなげるための基礎資料の作成。 ・医療関係職種以外の関係者も含め女性の健康課題の理解のための基礎資料やガイドライン等の作成。 	14,000～ 19,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
難治性疾患政策研究事業 (FC)	疾患別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究 (FC-1) (1.(1)本研究事業の現状に示す広義の難病(指定難病及びその類縁疾患を除く)を対象とする。応募の際には対象疾病が分かるように課題名を付けること。なお、小児慢性特定疾病等を対象として含めることは可とする。)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国規模の疫学調査による患者実態把握 ・関連学会との連携体制の構築及び関連学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成や改訂 ・良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築 ・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築 ・AMED研究を含めた関連研究との連携 ・関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発 	2,000～ 3,000	4	2
	領域別基盤研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究 (FC-2) (客観的な指標に基づく疾病概念が確立されている疾病を対象とする。なお、1.(1)本研究事業の現状、に示す広義の難病であれば、小児慢性特定疾病等、指定難病に指定されていない類縁疾病を対象として含めることは可とする。)	<ul style="list-style-type: none"> ・関連学会との連携体制の構築及び関連学会から承認された診断基準・重症度分類・診療ガイドライン等の作成や改訂 ・良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築 ・小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築 ・指定難病患者データベース等の各種データベース構築への協力 ・AMED研究を含めた関連研究との連携・取りまとめ ・国内外の診断・治療方法の開発状況及び国内の治療成績の改善状況の把握 ・関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発 	疾病領域の状況を踏まえ下記に分類 (研究規模 A) 5,000～7,500 (研究規模 B) 8,000～12,000 (研究規模 C) 13,000～19,500 (研究規模 D) 20,000～30,000 全指定難病を網羅するために必要な課題数に応じて配分方法を調整	13	3

	<p>横断的政策研究分野における難病の医療水準の向上や患者のQOL向上に資する研究 (FC-3)</p> <p>(単一の領域別基盤研究分野の研究班ではカバーできないような、種々の分野にまたがる疾病群や、病によらず難病等の患者を広く対象とした研究とする。単一領域内の疾病あるいは疾病群に関する研究は対象としない。) (応募の際には、対象となる複数領域の疾病群、あるいは難病等の患者に共通するテーマなどがわかるように課題名を付けること)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 患者の療養生活環境整備やQOL向上に資する成果 良質かつ適切な医療の確保を目指す診療提供体制の構築 小児・成人を一体的に研究・診療できる体制の構築 AMED研究を含む関連研究との連携・取りまとめ 関連学会、医療従事者、患者及び国民への普及・啓発 	8,000～ 12,000	2	3
--	--	--	------------------	---	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
免疫アレルギー疾患政策 研究事業 (FE)	免疫アレルギー疾患における患者の層別化に基づいた生物学的製剤等の適正使用に資する研究 (FE-1)	<ul style="list-style-type: none"> 免疫アレルギー疾患の患者の層別化に基づく診療ガイドラインの作成 これまでの国内、海外における免疫アレルギー疾患に関する治療に関する論文を用いて、システムティックレビュー等による患者の層別化に関する最新のエビデンスを示す資料 	5,000～ 7,500	2	3
	食物経口負荷試験の均てん化に向けた研究 (FE-2)	<ul style="list-style-type: none"> 患者の重症度、診療レベルに応じた食物経口負荷試験プロトコール 標準化された食物経口負荷試験の均てん化に活用できる具体的なマニュアル等の資料 	6,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
移植医療基盤整備研究事業 (FF)	小児の臓器提供における適切かつ円滑な体制構築および環境整備に資する研究 (FF-1)	<ul style="list-style-type: none"> 小児臓器提供を円滑に実施するための、普及啓発から救急初期診療、臓器提供に至るまでの各プロセスの課題の抽出とその改善策の提案 小児臓器提供に関するマニュアルの作成、円滑に臓器提供を進めることのできる体制の構築や環境の整備に資する知見。 	8,000～ 10,000	1～2	3
	効率的な臍帯血採取方法及び最適化した調整保存方法の確立等による、移植に用いる臍帯血ユニット数の増加に資する研究 (FF-2)	<p>臍帯血を採取している各産婦人科医院における臍帯血採取方法の効率化や質の向上、各臍帯血バンクにおける調整保存方法の最適化を図るため、以前までの研究の結果等を基にして、適切な手法をそれぞれ見出し、多施設において検証を行うことで、確立を図る。</p> <p>①効率的な臍帯血採取方法を確立するとともにこれに関するマニュアルを作成し、各臍帯血バンクが契約している採取施設に配布、研修会を行う。</p> <p>②臍帯血の効率的な調整方法に関する根拠のある知見を収集することでマニュアルを作成し、各臍帯血バンクにおいて研修会等を行う。</p> <p>③得られた知見を基に、「移植に用いる臍帯血の品質の確保のための基準に関する省令の運用に関する指針(ガイドライン)」の改定を図る。</p>	8,000～ 10,000	1～2	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
長寿科学政策研究事業 (GA)	PDCAサイクルに沿った介護予防の取組を推進するための通いの場等の効果検証のための研究 (GA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 複数の市町村において、通いの場の参加者と非参加者の比較、個人を識別した上での追跡が可能な体制を構築し、通いの場等の介護予防の取組の効果検証を行うこと 国内外のエビデンスを整理し、PDCAサイクルに沿った介護予防の取組が推進されるよう、エビデンスに基づいた自治体向け手引きを作成すること 介護予防に関する評価指標の妥当性を検証し、適正な評価指標や評価方法について提案すること 	8,000～10000	1	2
	早期の在宅療養移行及び療養継続支援における訪問看護による効果測定及び評価のための研究 (GA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 訪問看護提供による効果、サービスの充実度を測定するための評価指標(疾患群、身体・精神状態、介護力や環境要因など基礎情報を踏まえた指標) 評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等を示す資料(研究班が作成した原著論文、研究班で収集した論文集等) 評価指標を活用したサービスの充実に向けた評価方法(実践モデルもしくはPDCAサイクルを事業所で行えるような手法の提案を含む) 	8,000～10000	1	3
	高齢者の自立支援・重度化防止を効果的に進めるための栄養専門職と介護職等による栄養・食生活支援体制の効果検証のための研究 (GA-3)	<ul style="list-style-type: none"> 地域における高齢者を対象とした栄養・食生活支援に関するエビデンスの整理及び栄養専門職と介護職等の連携状況に関する実態を取りまとめた資料 介護職等が栄養・食生活支援が必要な者を把握し、現場での活用を見据えた栄養専門職につなげるためのエビデンスに基づく簡易な指標及び連携モデル 高齢者の生活状況や地域資源を踏まえた、介護職等と栄養専門職の連携体制の構築と普及のためのエビデンスに基づいた手引き 	10,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
認知症政策研究事業 (GB)	認知症者の人生の最終段階の医療・ケア提供のための調査研究 (GB-1)	<ul style="list-style-type: none"> 人生の最終段階における医療・ケア提供に関する文献及び実態調査を行い、意思表示を含めた認知症者及びその家族等に対するフォローやサポート並びにエンドオブライフケアを実践する際に生じる課題を整理する。 終末期に近い認知症者のうつ・無気力に対するエビデンスの整理および実態の把握を行い、また認知症者の家族や成年後見人等に対するフォローやサポートの方法等についてとりまとめる(研究班による論文投稿等)。 上記を踏まえた、終末期に近い認知症者(家族等に対するフォローやサポートも含む)へのエンドオブライフケアに関する手引きを作成する。 	10,000～15,000	1～2	3
	併存疾患に注目した三次予防(重症化予防)のための研究 (GB-2)	<ul style="list-style-type: none"> 併存疾患と認知症に関するエビデンスを系統立てて整理した資料(研究班による論文投稿等)。 疾患が認知症と併存する場合における臨床上的問題の整理と対応方法の検討、それらの課題と解決策の信頼性・妥当性の検証、併存疾患と認知症に対する適切な対応方法等についてのエビデンスに基づいた提案。 	13,000～18,000	1～2	3
	軽度認知障害の者への支援のための調査研究 (GB-3)	<ul style="list-style-type: none"> 軽度認知障害に対する進行予防・心理的支援に関するエビデンスの整理(文献調査)及び実態調査により得られた知見を取りまとめた資料。 軽度認知障害の方に対する進行予防・心理的支援に関する適切な支援方法の開発およびエビデンスが検証・確立された内容を盛り込んだ手引き。 	13,000～18,000	1～2	3

	<p>認知症に対する神経心理検査の幅広い利用に向けた基盤的調査研究 (GB-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本邦で使用されている神経心理検査についての活用状況等を示す資料(翻訳の有無、原文と翻訳それぞれの著作権の状況を含む。) ・ 様々な神経心理検査(BPSD評価や介護負担度評価を含む)の普及を進めるための方向性を検討し、これをまとめた資料。 ・ 評価法の行政上の採択や普及法に関する留意点を検討した上での今後の方向性の検討に資する資料。 	7,000～10,000	1～2	1
--	--	--	--------------	-----	---

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
	<p>障害者の支援機器開発におけるモニター評価手法の開発及びモニター評価を実践する人材の育成プログラム開発のための研究 (GC-1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援機器開発の開発過程においてリハビリテーション専門職、医工学エンジニア等が使用できるモニター評価の標準的手法の開発。 ・ 支援機器開発の開発過程においてモニター評価を実践できるリハビリテーション専門職、医工学エンジニア等の人材の能力評価指標の作成。 ・ 支援機器開発の開発過程においてモニター評価を実施できる医療福祉施設および人材の確保・育成につながるような、支援機器開発の促進・支援に寄与する標準的指標の作成。 	15,000	1	2
	<p>精神科救急医療体制整備の均てん化に資する研究 (GC-2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自治体における精神科救急医療体制整備の状況に係る調査の実施 ・ 精神科救急医療体制の整備及び稼働状況における評価基準の開発 ・ 自治体による救急医療体制の整備のためのガイドラインの作成 ・ 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに資する精神科救急及び急性期医療政策の提言のとりまとめ 	9,500	1	1
	<p>退院後の地域生活を見据えた切れ目ない診療モデルの普及と地域生活支援体制の構築に向けた研究 (GC-3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多職種・多機関の協働による包括的なマネジメントにより、入院の長期化の防止および長期入院患者の地域移行、地域定着に取り組んでいる医療機関における治療プログラム(入院治療や外来治療における支援内容)の収集および人員配置や業務量、医療経済データ等の実態調査を行う。 ・ 支援対象者のニーズに応じて提供されている切れ目ないケースマネジメント(自治体、障害福祉サービス事業所等との連携)について検証を行い、サービスが効果的に提供されている自治体や医療機関等の好事例の収集を行う。 ・ 調査結果に基づき、入院の長期化防止および長期入院患者の地域移行・地域定着を効果的に進めるための診療モデルを提示し、診療報酬改定や障害報酬改定の根拠となる基礎資料として活用する。 	12,000	1	3
	<p>医療観察法における専門的医療の向上と普及に資する研究 (GC-4)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 重度精神疾患標準的治療法確立事業のデータを活用し、医療観察法対象者の類型化(標準型、再処遇・再入院型、複雑型等)を行い、処遇終了時の転帰や予後等の全国調査を行う。 ・ 複雑事例とされる対象者の病態解明や分類、治療介入等の検討を行い、複雑事例の対応マニュアルを作成する。 ・ 医療観察法における取組(治療プログラムやケア会議等)を一般の精神医療でも実施できる診療モデルを提示する。 	9,500	1	2
	<p>摂食障害に対する標準的な治療方法(心理的アプローチと身体的アプローチ)とその研修方法の開発及び普及に資する研究 (GC-5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 摂食障害の標準的な治療方法等に関する国内外の文献的レビュー。 ・ 成人の神経性やせ症に対する心理療法(Maudsley Anorexia Nervosa Treatment for Adults:MANTRA)及び認知行動療法(Enhanced Cognitive Behavior Therapy:CBT-E)等の治療マニュアルと研修方法の開発とその効果検証。 ・ 小児の摂食障害に対する早期介入や心理的アプローチの検討及び検証。 ・ 摂食障害の身体治療マニュアルの効果検証と普及方法の検討。 	15,000	1	3

	<p>精神保健医療従事者による、新型コロナウイルス感染症や自然災害等に起因した心のケアに対する心理的アセスメント及び応急処置介入方法の適切な提供体制の構築と、それに伴うメンタルヘルスの維持向上に資する研究 (GC-6)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症や自然災害等に起因した心のケアに対する文献レビューや国内外の情報収集。 ・精神保健福祉センターや精神科医療機関等の専門家による、心理的アセスメント及び応急処置介入方法の標準的マニュアルの整備と、その効果の検証。 ・ウェブ及び対面式による研修会の開催と研修資料の作成。 ・関連学会、全国の精神保健福祉センターや精神科医療機関等の専門家への周知。 	10,000	1	2
	<p>効果的な集団精神療法の施行と普及および体制構築に資する研究 (GC-7)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・集団精神療法に関する実態把握と国内外の文献レビュー。 ・国際的に認知されている、認知行動療法の技法を用いた集団精神療法のマニュアルに基づく本邦におけるマニュアルの作成。 ・ウェブ及び対面式による研修会の開催と研修資料の作成。 ・作成されたマニュアルに基づく集団精神療法の実施と、ランダム化比較デザインを用いた臨床評価に関する効果の検証。 ・治療者のための評価方法の開発を行い、信頼性・妥当性の検証。 ・ウェブシステムによるコンサルテーション体制の構築と、評価方法を用いたフィードバックの有効性と有害事象の検討。 ・関連学会、精神科医療機関における関連職種への普及と啓発。 	12,000	1	3
<p>障害者政策総合研究事業 (GC)</p>	<p>睡眠薬と抗不安薬の処方実態等に関する調査ならびに適正な処方を実践するための心理的アプローチ等の研修プログラムの開発と効果検証及び普及に資する研究 (GC-8)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全国の精神科医およびプライマリケア医を対象として、アンケート調査等の手法を用いて、睡眠薬・抗不安薬の処方実態、それに伴う患者への影響(効果や副作用)についての実態調査を実施する。 ・精神科医のみならずプライマリケア医でも実施できる睡眠薬・抗不安薬の処方方法、睡眠衛生指導や認知行動療法の考え方を生かした心理的アプローチ等の研修プログラムの開発と効果検証及び普及と方法の検討を行う。 	9,500	1	2
	<p>障害者の地域生活におけるICTを活用した障害福祉サービス等の業務の効率化と効果の検証のための研究 (GC-9)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・共同生活援助や自立生活援助、就労定着支援等の障害福祉サービスの利用者の生活状況やメンタルヘルス、適応行動などの評価や相談等の支援に活用できるICTの提案。 ・ICTを活用した障害福祉サービスにおける支援についてのマニュアルの作成。 ・ICTを活用した障害福祉サービス支援についての業務の効率や効果を示す資料(報告書等)の作成。 	6,000～7000	1	2
	<p>地域特性に応じた発達障害児の多領域連携における支援体制整備に向けた研究 (GC-10)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎自治体の地域特性に応じた発達障害児の乳幼児期から学齢期のステージにおける多領域連携支援体制の標準的な流れの提案 ・基礎自治体が地域特性に応じた多領域連携支援体制の流れを作成できるようになるための手引きの作成 	7,000～9000	1	2
	<p>重症心身障害者の住まいの場の実態把握と課題解決のための研究 (GC-11)</p>	<p>各自治体が重症心身障害者の住まいの場を検討する際に活用できるグループホームなどで暮らしている好事例集の作成</p>	6,000～7000	1	2
	<p>障害児(その疑い)の虐待予防のための研究 (GC-12)</p>	<p>障害児通所支援事業所等において、家族支援を行う際に利用できる障害児(その疑い)の虐待予防に関する手引きの作成</p>	6,000～7000	1	2

障害福祉分野の研修及び実地教育(OJT)の効果の検証及び効果的な実施のための要因解明のための研究 (GC-13)	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援従事者養成研修事業並びに相談支援従事者主任研修事業及び相談支援専門員に対して実施される実地教育(OJT)を効果的に実施するための要因分析及びそれに基づく研修評価の方法に関する資料 研修及び実地教育(OJT)等の効果的展開に関する実施マニュアル 	6,000～7000	1	2
相談支援専門員とサービス管理責任者及び児童発達支援管理責任者の連携に関する評価ツールの開発のための研究 (GC-14)	相談支援専門員及びサービス管理責任者等の連携業務を評価点検するためのツール(本研究の知見から構成される評価尺度の提案を含むこと)とその実施マニュアル	4,000～5000	1	2
地域共生社会の実現に資する障害福祉人材の確保、養成のための研究 (GC-15)	<ul style="list-style-type: none"> 障害福祉分野における人材確保が困難な原因を調査し、効果的な人材確保の方策について提案 障害福祉サービス等の人材を担う多様な属性における人材養成及び職場定着方法の提案 多様な人材確保と養成、定着のための有効なアプローチ方法をまとめたハンドブックの作成 	7,000～9,000	1	2
障害特性に対応した住居の構造等の類型化のための研究 (GC-16)	障害特性(身体障害の他、医療的ケア、強度行動障害、高次脳機能障害等)に対応する住宅構造等を障害種別ごとに整理し、それらを取りまとめたガイドブックの開発	4,000～6,000	1	2
就労系障害福祉サービスの支給決定プロセスにおける就労アセスメントの効果的な実施のための研究 (GC-17)	自治体の支給決定プロセスにおいて、アセスメントの効果的な取組を取り入れた自治体の支給決定モデルの構築、及びその周知の成果のとりまとめ。	6,000～7,000	1	2
就労系障害福祉サービスにおける在宅就労の推進のための研究 (GC-18)	<ul style="list-style-type: none"> 発達障害、精神障害等の多様な障害に対応した在宅就労の支援ノウハウ、支援の効果に関する情報の収集及びとりまとめ 就労移行支援事業所、就労継続支援事業所が在宅就労の支援に取り組む際に活用できる支援マニュアルの作成。 支援マニュアルを使用した就労移行支援事業所、就労継続支援事業所に対するオンライン研修等の実施。 	6,000～7000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額(千円)	課題数	研究期間(年)
	食品由来感染症の病原体の解析手法及び共有化システムの構築のための研究 (HA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 病原体の解析法を普及し、精度管理の仕組みを導入し、より迅速で信頼性の高い検査体制を確立する。 病原体情報を速やかに共有できるよう、ネットワークの強化方策の検討及びその実装を行う。 	15,000	1	3
	環境における薬剤耐性菌及び抗微生物剤の調査法等の確立のための研究 (HA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 環境中の薬剤耐性菌及び抗微生物剤の薬剤耐性(AMR)の発生・伝播への影響とヒト及び動物へのリスクを示した国内外の資料を収集し、システマティックレビューを行う。 環境中における薬剤耐性微生物及び残留抗微生物剤がヒト及び動物に与える影響を評価するための動向調査・監視の調査法等及び研究手法を整理し、その有効性、実行可能性等について比較検討を行う。 河川における薬剤耐性微生物及び残留抗微生物剤の状況を把握する調査法を開発し、その結果を用いてリスクアセスメントを行う。 	7,500	1	3

新興・再興感染症及び予防接種政策推進研究事業 (HA)	性感染症に関する特定感染症予防指針に基づく対策の推進のための研究 (HA-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 性感染症、特に梅毒の増加要因を解析する。 ・ 性感染症に関する普及啓発の現状について評価し、普及啓発に不足している課題を明らかにし、より効果的な普及啓発を実施する。 ・ 日本における性感染症の検査及び治療に関する現状を解析する。 ・ 性感染症の起因菌の薬剤耐性獲得に関する現状を解析する。 	10,000	1	3
	開発優先度の高いワクチンの有効性・安全性等の評価に関わる医療データベース構築のための探索的研究 (HA-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ National Database (NDB) データや、地域・医療機関の医療データ等から、開発優先度の高いワクチン等の対象疾病に関する疾病負荷データや重症度の情報を継続的に提供することができるデータベースを構築し、データベースを用いてワクチン導入前のベースラインとなる疾病負荷の推定を行う。また、既存のサーベイランスがある疾病については、疾患ごとに最適なサーベイランスを構築し、全国的な疾病負荷分析の評価を行う。 ・ 上記ワクチン導入後の疾病負荷の減少を評価することにより、ワクチンの有効性を明らかにするために必要な基礎データを作成する。 ・ 各ワクチンの安全性・副反応を評価するシステムとして、医療機関との双方向のネットワークを強化・維持し、ネットワークの実効性を高める。また、副反応発生時の対応手法を標準化することにより、迅速な因果関係評価を実施する。 	15,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	エイズ予防指針に基づく対策の推進のための研究 (HB-1)	<ul style="list-style-type: none"> ・ エイズ予防指針に記載された事項に関する、これまでの事業及び研究、各種ガイドラインの内容の整理 ・ エイズ予防指針に基づく、陽性者を取り巻く課題等に対する各種施策の効果等の経年的評価、進捗状況の把握と課題抽出 	10,000～15,000	1～2	3
	HIV・エイズ早期治療実現に向けての研究 (HB-2)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本におけるRapid ART (抗レトロウイルス療法) の有効性の検証 ・ Rapid ART 導入の課題の抽出 	10,000～15,000	1	3
	地域におけるMSMのHIV感染・薬物使用を予防する支援策・予防啓発活動の確立に向けた研究 (HB-3)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬物依存・乱用者とHIV感染の関連性に関する疫学的情報の更新可能なデータ基盤を構築する。 ・ 上記解析を踏まえた効果的な感染予防のための手法を開発し、その介入効果を評価する。 ・ 薬物乱用・依存者における薬物不使用及び依存症からの回復に向けた支援の手法については、一般的な検討ではなく、HIV感染を合併した者に対する支援にあたって、展開されている予防啓発活動の評価を含め特に必要な事項を整理した上で、その介入効果を評価し、啓発資材等を作成する。 ・ HIVの感染拡大リスクが高い集団であるMSMにおける感染動向、リスク行動の実態及び予防啓発の浸透度を把握する。 ・ 各地域のゲイコミュニティにおける予防啓発活動の介入効果を評価する手法を確立し、介入効果を可視化するシステムを構築する。 ・ 精神保健福祉センター・薬物依存症回復施設における支援状況の調査を行う。 	15,000～20,000	1	3
	HIV感染症診療の提供体制の評価及び改善のための研究 (HB-4)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 拠点病院以外の医療機関での診療における留意事項の整理を行う。 ・ モデル地域における医療体制整備を進める上で必要な事項について整理し、医療体制の維持に必要な体制の構築や人材の育成に資する取組を実施する。 ・ HIV・エイズ非専従の医療従事者に対する研修等のプログラム構築を行う。 ・ 実施した取組の実績を評価し、モデル地域における医療体制整備を進めるための課題と他の地域において医療体制整備を進めるための課題の整理を行う。 ・ 地域の実情に応じた関係機関の連携体制構築に必要なプロセスの整理を行う。 	10,000～15,000	1	3

エイズ対策政策研究事業 (HB)	ブロック拠点病院のない自治体における中核拠点病院の機能評価と体制整備に資する研究 (HB-5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロック拠点病院のない自治体において中核拠点病院及びエイズ治療拠点病院の担う役割を評価し、医療体制整備を進める上での課題を抽出する。 ・拠点病院以外の医療機関での診療における留意事項の整理を行う。 ・モデル地域における医療体制整備を進める上で必要な事項について整理し、医療体制の維持に必要な体制の構築や人材の育成に資する取組を実施する。 ・HIV・エイズ非専従の医療従事者に対する研修等のプログラム構築を行う。 ・実施した取組の実績を評価し、モデル地域における医療体制整備を進めるための課題と、他の地域において医療体制整備を進めるための課題の整理を行う。 ・地域の実情に応じた関係機関の連携体制構築に必要なプロセスの整理を行う。 	10,000～ 15,000	1～2	3
	HIV感染者の妊娠・出産・予後に関するコホート調査を含む疫学研究と情報の普及啓発方法の開発ならびに診療体制の整備と均てん化のための研究 (HB-6)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内におけるHIV感染者の妊娠・出産に関する情報を整理した資料を作成する。 ・国内のHIV感染者の妊娠・出産に関する情報を整理するにあたり、海外の体制についても合わせて整理を行い比較可能な資料を作成する。 ・整理した情報に基づいてHIV感染者の妊娠・出産について効果的・効率的に周知する手法を開発し、その介入効果を評価する。 	30,000～ 45,000	1	3
	オリンピック・パラリンピック・万博等の外国人の流入を伴うイベントの開催に伴う性感染症のまん延を防ぐための介入方法の確立と国際協力に資する研究 (HB-7)	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの、オリンピック・パラリンピック等の国際的イベント開催時の取組事例を収集する。 ・感染拡大が特に懸念される感染症を予測・整理する。 ・取組事例を踏まえた、オリンピック・パラリンピックの開催に伴う感染拡大を防ぐための方策を検討する。 ・取組の実施を支援するとともに、取組の評価を実施する。 ・収集した事例をまとめた資料を作成する。 ・オリンピック・パラリンピックの開催に伴う感染拡大の防止に向け、国際協力を含めたその取組を実施する。 ・取組の評価を実施し、まとめた資料を作成する。 	10,000～ 12,000	1	3
	HIV陽性者に対する精神・心理的支援方策及び臨床心理士・ソーシャルワーカー連携体制構築に資する研究 (HB-8)	<ul style="list-style-type: none"> ・HIV感染者・エイズ患者に対する効果的な心理的支援策の提示 ・HIV感染者・エイズ患者の精神科診療における診療科間及び施設間連携を円滑に行うモデルの構築・推進 ・感染症診療、精神科診療及び心理的支援を統合した診療ネットワークのモデルの構築・推進 ・HIV感染者・エイズ患者に対する効果的なMSWの介入方策の提示 ・MSW間のネットワークのモデルの構築・推進 	8,000～ 10,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
肝炎等克服政策研究事業 (HC)	ネットワーク社会における地域の特性に応じた肝炎診療連携体制構築に資する研究 (HC-1)	<p>各自治体が、肝炎診療連携拠点病院をはじめとする専門医療機関やかかりつけ医と協力して、肝炎患者等を中心に置いた診療連携体制を構築し、各地域の特性に合わせて効果的、効率的に運営するために参考となる資料を作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における診療連携体制の実例とその特徴や参考となるポイントを示す資料(診療連携体制の障壁を解決する方策が示されている資料)。 ・地域の医療体制やインフラの整備状況に応じた診療連携体制構築の方法論の提供、モデルケースの創出等。 ・記載事項のエビデンスレベル(評価指標等の信頼性・妥当性、介入の効果等)を示す資料(研究班が作成した英文ないし和文の原著論文、研究班で収集した論文集等)。 	14,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	医療安全における医療機関の連携に資する研究 (IA-1)	医療安全における病院間の相互評価の取り組みについて、医療機関に調査を行い、実施状況を把握するとともに医療機関の連携を促進するための相互評価による医療安全への効果や評価の実施にあたる課題を明らかにする。	5,500～ 6,500	1	2
	あん摩マッサージ指圧施術所の就業実態を把握するための研究 (IA-2)	非視覚障害者のあん摩マッサージ指圧師に係る学校の新設又は定員の増加の抑制を行うべきかどうか技術・政策的判断に関する情報の収集及びその評価(現況の市場分析を踏まえた視覚障害者あん摩マッサージ指圧師及び非視覚障害者あん摩マッサージ指圧師の需給の現状、収入などを含むこと)	2,000	1	3
	医療の質及び患者アウトカムの向上に資する適切な看護サービス・マネジメントの確立に向けた研究 (IA-3)	・全国の医療機関が有する既存データの解析による、医療の質及び患者アウトカムへ影響する看護関連指標の提示。 ・上記指標毎の国内における基準値(ベンチマーク)の提案とその活用についての提言。	8,000	1	2
	遠隔医療の実施における基盤整備のための医療情報の標準規格の策定に資する研究 (IA-4)	・遠隔医療の実施における基盤整備のための医療文書等(看護やその他の文書(看護サマリー等)も含む)やその他重要な医療情報に関して、現状の標準規格や有無を調査し整理すること。 ・遠隔医療に資する医療情報を選定し、次世代の規格であるHL7 FHIを前提とした厚生労働省標準規格に申請可能な規格仕様書案を作成すること。 ・作成した規格仕様書案は、関係学会の認定を受けること。 ・選定した標準規格について、関係者パブコメ等を実施して、医療現場での運用事例を想定した運用試験を実施することで将来本格運用された際の課題点を洗い出すとともに現場での活用に向けた方針を取りまとめること。	6,000～ 8,000	2	2
	浸水被害も含めた、新たな医療機関の事業継続計画(BCP)策定に資する研究 (IA-5)	・近年頻発している浸水被害等に関する分析を行った上で、平成24年度厚生労働科学研究「東日本大震災における疾病構造と死因に関する研究」において作成された「BCPの考え方に基づいた病院災害対応計画作成の手引き」について、必要に応じた見直し等を行うこと。 ・見直しにあたっては、少なくとも以下の項目を含むこと。 ①台風や豪雨により、医療機関の浸水被害や停電被害等が発生したことに関する分析とそれに対するBCP上の考え方(院内スタッフの役割分担、職員教育など) ②医療機関の機能を維持するために必要な燃料の調達、電気・通信会社との連携・復旧、水・食料の確保等についてBCPの観点からどのようなことを行うべきか	3,000～ 4,000	1	2
	災害時における医療機関の役割分担及び連携の検討に資する研究 (IA-6)	・近年の地震・豪雨等の被害が発生した地域(3箇所以上)について調査を行い、災害時において、災害拠点病院や災害拠点病院を支援する地域の医療機関がどのように役割分担や連携を行ったのか等について情報収集し、共通点や地域の特性に基づく課題等の分析を行うこと。 ・近年の災害発生状況等を含めた災害拠点病院に、今後、求められる機能や要件を提示すること。 ・災害拠点病院を支援する地域の医療機関に、今後、求められる機能や要件を提示すること。	3,000～ 4,000	1	2

地域医療基盤開発推進研究事業 (IA)	医療機関が行う災害医療訓練の質の向上に資する研究 (IA-7)	<ul style="list-style-type: none"> 先行事例について情報収集及び分析し、類型化して提示すること。 医療機関が災害医療訓練を行うにあたって、参考にできる訓練実施マニュアルを作成すること。 作成するマニュアルでは、少なくとも以下のものを含むこと。 <ul style="list-style-type: none"> ①浸水を伴う風水害を想定した訓練 ②地震を想定した訓練 ③①及び②について、災害の発生が通常勤務時間帯であった場合の想定 ④①及び②について、災害の発生が休日又は夜間帯であった場合の想定 前項①～④について、共通点及び異なる点を整理し提示すること。 	3,000～4,000	1	2
	大規模災害発生の事前予測を踏まえた医療機関における事前避難の方策の検討のための研究 (IA-8)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害の発生が予測された場合に、発災前に地域から多数の患者を事前避難させる場合の基本方針、必要な資機材、リスクなどについて整理・提案等を行うこと。 	3,000～4,000	1	2
	人口動態や地域の実情に対応するへき地医療の推進を図るための政策研究 (IA-9)	<ul style="list-style-type: none"> へき地の人口分布、人口動態、地理的条件等を加味した今後のへき地における医療需要の分析資料の作成。 上記を踏まえた、へき地における地理的条件に応じた医療提供体制(ICTを用いた対応、巡回診療での対応等)の提言。 国内及び海外において既に行われている、へき地における様々な医療提供体制の取組(へき地の診療所等への財政支援、研修支援、へき地の医師確保事業を含む)に関する事例の収集、及びそれらを踏まえた都道府県等が活用できる資料の作成。 へき地で実際に勤務する若手医療従事者を対象としたヒアリングの実施及びへき地医療に従事する理由や課題の分析(普遍的な要因、地域特有の要因等の解明)。 へき地医療の実態などに関する情報発信、広報活動の実施。 	4,200	1	3
	医療機関における院内感染対策の質向上のための研究 (IA-10)	<ul style="list-style-type: none"> 今般の新型コロナウイルス感染症への対応時に実施された、国内外の院内感染対策を収集・分析し、課題の抽出を行い、対応策(新型コロナウイルス感染症以外の感染症にも対応できることを前提とする。)の検討を行うこと。 新型コロナウイルス感染症を含め、新興感染症が全国的に流行した際に、個人防護具の不足やゾーニング等を行う際の構造上の制約等が発生しないよう、平時から備えておくべき対応策の検討を行うこと。 平時からの院内感染対策等の質の向上に資する科学的知見の収集等を行うこと。 	8,000	1	3
	災害発生時の広域医療搬送と地域内医療搬送の役割分担に関する分析及び効率的に資源を投入するために必要なアルゴリズム構築に資する研究 (IA-11)	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に行われる広域医療搬送及び地域内医療搬送について、それぞれで想定される患者像、搬送手段、リスク等について過去の実例を分析し、それぞれの役割分担等について提言を行うこと。 傷病者が多数発生した場合の優先度設定に関して、考え方やアルゴリズムを作成し提言を行うこと。 災害発生時の被害状況を踏まえて、都道府県が効率的に資源(例:電源車、給水車など)を投入・分配するためにどのような条件や要素を考慮すべきか等について類型化等を行い、提言等を行うこと。 	3,000～4,000	1	2
	地域の実情に応じた医療提供体制の構築を推進するための政策研究 (IA-12)	<ul style="list-style-type: none"> 都道府県が行っている第7次医療計画の中間見直しの内容を含めた医療計画の分析、策定にあたっての課題抽出及び今後の医療計画を推進し実行するための対策の検討 病床機能報告の内容の分析、調査項目についての検討及び活用方法の検討 大規模な感染症流行時における短期的な医療需要への対応や、平時からの感染症に対する備えとしての取組も含めた行政や医療機関等の連携体制についての検討 2025年以降の中長期の医療需要の推計と、整備すべき医療提供体制についての検討 医療機能の分化・連携を推進するための地域の取組事例の調査分析 都道府県が医療計画において活用可能な医師偏在に関するDPCデータ・NDBデータ等の分析 	27,000	1	3

地域医療構想の達成に向けた病院管理者のための組織マネジメント研修プログラムの普及啓発のための研究 (IA-13)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域における各医療機関が医療需要の変化に適切に対応している実例を学ぶことが可能であり、実際の病院運営に活かせるような研修教材及びプログラムの開発を行う。 ・教材及びプログラムについては研修で学んだ内容を受講者が病院内の関係者と広く共有することができ、その内容が関係者内で自然と共通の認識となるような内容とする。 	4,500	1	2
災害時のDPATによる質の高い精神科医療活動のための研究 (IA-14)	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時におけるDPATによる精神科医療活動について、これまでのDPAT活動や急性期精神科医療にかかる文献等のレビューや実態調査を行う。 ・文献レビューや実態調査等の結果を踏まえて、災害時のDPATによる精神科医療活動が求められる時期・期間及び役割の明確化を行う。 ・適切な時期に自治体等に適切に支援を引き継ぐことを想定し、DPAT活動の終了時期に関する目安について提案する。 	3,000	1	3
人生の最終段階における臨床経過についての研究 (IA-15)	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外で実施されている人生の最終段階における機能低下のパターンに関する文献レビューを行う ・人生の最終段階における機能低下のパターン等の臨床経過を明らかにし、疾患等を踏まえた類型化を行う。 	3,000	1	2
地域特性に合わせた在宅医療提供体制の検討のための研究 (IA-16)	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅等への訪問による医療を中心とした入院外医療に関する諸課題について、文献レビュー及び調査(質問紙による調査、ヒアリング調査等)により得られた実態から分析し、把握する。 ・文献レビューや調査結果により把握した自宅等への訪問による医療を中心とした入院外医療に関する諸課題に対し、人口動態の変化や地域の在宅医療・介護サービスの提供状況等も鑑みた解決方法の検討及び提案を行う。 ・自宅等への訪問による医療を受けている患者の状態像について、文献レビュー及び実態調査により把握し、関係団体等からのヒアリングや海外の状況も参考にした上で、自宅等への訪問による医療の代替が困難な者の特性・特徴を明らかにする。 	8,000	1~2	3
成育過程をふまえた周産期医療提供体制・小児医療提供体制の連携に向けた政策研究 (IA-17)	<ul style="list-style-type: none"> ・周産期医療と小児医療における連携の好事例・先進事例の収集、分析を行うこと。 ・患者の成育過程に合わせて継続的な医療提供を行っている、好事例・先進事例の収集、分析を行うこと。 ・第8次医療計画の策定に向けて病床機能報告等のデータを用いて切れ目ない医療体制整備を客観的に評価するための指標等の開発を行うこと。 ・上記の分析を踏まえ、周産期医療、小児医療の連携の方策、周産期医療から小児医療へと切れ目のない医療提供体制について、提言を行うこと。 	3,600	1	3
救急救命士が行う業務の質の向上に資する研究 (IA-18)	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働予算事業「救急救命処置検討委員会」において、追加の検証が必要であると評価された項目について知見の収集、検証等を行う。なお、具体的には令和元年度「救急救命処置検討委員会」においてカテゴリーⅡ(厚生労働科学研究等において、追加の検証が必要である)と評価された項目について必ず検討すること。 ・近年医療現場に登場し、既に普及している診療資機材(ビデオ硬性挿管用喉頭鏡など)を、救急業務の現場で安全に使用可能か検証を行う。 ・救急救命士に対する挿管実習を効率的に行うための提言を行う。 	5,200	1	3
外傷患者に対する適切な救急医療提供体制の構築に資する研究 (IA-19)	<ul style="list-style-type: none"> ・NCDデータや日本外傷データバンクの活用による、日本における手術治療を要する重症外傷患者数の推計値。 ・上記のデータを活用した、搬送時間と、適切な治療開始までのアクセス時間を比較した検討。 ・手術治療を要する重症外傷患者受入れ医療機関の、重点化・集約化も考慮した救急医療提供体制整備についての考察。 	3,600	1	3
「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の最終評価に向けた検討及び歯科保健医療の向上に資する次期計画・目標策定のための研究 (IA-20)	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度を目標に予定している「歯科口腔保健の推進に関する基本的事項」の最終評価のための、統計学的手法も含めた分析・検証・課題の抽出 ・次期計画策定に向けた目標項目や目標値などエビデンスに基づいた具体的提言等 	2,800	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
労働安全衛生総合研究事業 (JA)	建設現場における建設工事従事者を対象とする新たな安全衛生確保のための制度構築に資する研究 (JA-1)	① 英国を始めとする欧州各国の建設現場における建設工事従事者(※)に関する法制度とその運用の実情調査を行う。 (※)本研究における対象 ・一人親方等 ・建設現場でフリーランスの立場や兼業・副業により作業に従事する者(ベテランの技能指導者、ICT技術者等) ② 国内ゼネコン等の建設現場における建設工事従事者に対する指導・支援の実情調査等を行う。 ③ 欧州の法制度の運用状況の調査(①)及び我が国の現場の状況の調査(②)により、我が国の課題を明らかにするとともに欧州の取組等で我が国でも効果が見込まれる対策、事項等について提言する。	5,000	1	2
	リスクの認知と回避行動の分析を踏まえた行動支援のためのデバイス、教育等の利用推進のための研究 (JA-2)	・一定の類型の災害の起きた状況を詳細に情報収集し、リスクの認知、回避行動について分析する。 ・回避行動を行うことができる認知能力に影響を与える、個人の要因(性格、教育経験、健康状況等)を評価する。 ・運転技能などの自己評価やリスクをとった場合の便益の認識との関連を評価する。 ・回避行動を支援するためのデバイスや安全衛生教育等の方法についての検討と提案を行う。	8,340	1	3
	障害をもつ労働者の労働災害の実態把握と安全衛生対策の確立に資する研究 (JA-3)	・主に身体障害や知的障害を伴う労働者に配慮した職場改善事例、必要な配慮事項等に係る調査・分析 ・主に身体障害や知的障害を伴う労働者に配慮した職場改善、作業管理等の取組事例の収集 ・主に身体障害や知的障害を伴う労働者の安全と健康確保のための配慮事項のとりまとめ	7,500	1	2
	職域における歯科口腔保健対策を推進するための調査研究 (JA-4)	・職域への導入につなげるための課題の抽出と課題解決のための方法や取組を提示する。 ・職域における歯科口腔保健対策を効果的に推進し、継続するための評価項目と指標を提示する(労働生産性の向上や健康経営の観点、事業場内スタッフや各種の事業場外資源の有効活用などを含む。)	6,600	1	3
	フリーランスの業界団体における安全衛生対策と意識の実態把握のための調査研究 (JA-5)	・いくつかのフリーランスの業界団体に対し、自主的に策定した安全衛生対策の指針等の事例を収集し、望ましい取組の要素を整理する。 ・フリーランスの業界団体の構成員であるフリーランス個人及びプラットフォーム等関係事業者に対し、安全衛生対策の取組や費用負担、補償の仕組み等について、アンケート調査を行う。	8,000	1	2

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
	食品安全行政の推進に資する研究分野における若手育成のための研究 (KA-1)	消費者、生産者・業界、諸外国の研究者等との関係性を構築することで、食品を取り巻く多彩な課題に対応できる若手研究者を育成する。	2,000 ~3,000	1~ 10	3
	香料等の遺伝毒性・発がん性包括的試験法の開発・標準化に資する研究 (KA-2)	香料を含む食品添加物の安全性をin silico、in vitro、in vivoで階層的に評価するため、評価方法の精緻化、および簡便化をめざし、そのための評価ツール、試験法を開発する。	30,000 ~32,000	1	3

食品の安全確保推進研究事業 (KA)	新たなバイオテクノロジーを用いて得られた食品の安全性確保とリスクコミュニケーションのための研究 (KA-3)	新たなバイオテクノロジーを利用して開発された食品の安全性管理において、考慮する必要のある項目や、その項目に係る検討において有用な手法、また、同食品の諸外国における取扱いの検討状況や、リスクコミュニケーションに係る知見の収集によって、国際的協調や消費者の意識を踏まえた安全性管理手法の開発に資する基礎的知見を得る。	33,000 ~35,000	1	3
	野生鳥獣由来食肉の食中毒発生防止と衛生管理ガイドラインの改良に資する研究 (KA-4)	<ul style="list-style-type: none"> 野生鳥獣肉の利活用と食中毒発生の実態に応じた、危害防止のための知見の提供。 野生鳥獣由来食肉に関連する食中毒及び健康被害を防止するための、HACCPに沿った衛生管理の義務化、現場の実態に対応した衛生管理手法の確立(衛生管理ガイドライン改良のための根拠の提供)。 	23,000 ~25,000	1	3
	ワンヘルスに基づく食品由来薬剤耐性菌のサーベイランス体制の強化ための研究 (KA-5)	<ul style="list-style-type: none"> 食品中の薬剤耐性菌の動向把握、及び当該結果をワンヘルス動向調査年次報告書やWHOに提出するためのデータの蓄積。 食肉を中心とした動物性食品の薬剤耐性菌の薬剤耐性機序に関する知見の提供。 	42,000 ~44,000	1	3
	自然毒等のリスク管理のための研究 (KA-6)	<ul style="list-style-type: none"> 雑種ふぐの発生状況及びふぐの流通状況を把握する。 麻痺性貝毒の機器分析法について、国際的な動向を踏まえ、分析法を確立する。 植物性自然毒(きのこ含む)の食中毒の発生傾向を分析し、効果的な防止策を作成する。 汎用性の高い植物性自然毒(きのこ)の分析法・同定法を確立する。 厚生労働省ホームページに掲載されている動物性自然毒、植物性自然毒(きのこ含む)のリスクプロファイルを更新し、併せて効果的な消費者に対する情報提供方法を提案する。 	28,000 ~30,000	1	3
	食中毒原因細菌の検査法の整備のための研究 (KA-7)	<ul style="list-style-type: none"> 簡易で迅速検査法を確立する。 食中毒発生に重要な要因となる菌の特性や食品中での挙動を把握する。 食品の汚染実態を踏まえた効果的な制御方法を確立し、食中毒防止法を提案する。 	21,000 ~23,000	1	3
	食品中の動物用医薬品等の新たな評価管理手法の導入のための研究 (KA-8)	<ul style="list-style-type: none"> 国際機関及び諸外国等における評価手法及び評価実績の情報収集 国際機関等の評価管理手法や我が国のデータ要求事項等を踏まえた、我が国での評価ガイダンス案の治安 評価ガイダンス案に基づく評価に資する計算ツール等の提案 	2,000 ~4,000	1	3
	小規模異業者等におけるHACCPの検証に資する研究 (KA-9)	<ul style="list-style-type: none"> 小規模事業者等において活用可能なHACCP検証手法の提案 HACCPに沿った衛生管理の制度化による効果の分析手法の提案 HACCPの考え方を取り入れた衛生管理の手引書に関する科学的知見の提供 	17,000 ~19,000	1	3
	新型コロナウイルス感染症対策に取り組む食品事業者における食品防御の推進のための研究 (KA-10)	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症流行時の飲食店等を念頭に置いた食品事業者で用いることのできるチェックリスト、食品防御ガイドラインの作成。 新たな事業形態で意図的に混入されうる物質等の検証、及びそれに対応する地方自治体等の準備体制の検討 	22,000 ~24,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
-------	-------	---------	------------------	-----	-------------

医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業 (KC)	ワクチン等の品質確保を目的とした国家検定の最適化や国際整合化を目指すための研究 (KC-1)	<ul style="list-style-type: none"> SLP(試験記録等要約書)審査の活用、試験頻度・試験項目の見直し、異常毒性否定試験の実施方針など、国際整合性の観点から、より効果的かつ効率的な国家検定について検討する。 科学的根拠に基づく品質リスク評価結果等を適切に反映した国家検定制度の見直し等が可能となる仕組みについて検討する。 	3,000～5,000	1	3
	危険ドラッグ等の乱用薬物に関する分析情報の収集及び危害影響予測のための研究 (KC-2)	<ul style="list-style-type: none"> 危険ドラッグの流通実態、含有する指定薬物等の迅速識別に関する分析データ等について収集することで、具体的な化合物や植物を指定薬物として指定する際に想定される問題点を明確にする。 明確にされた問題点を解決するための分析手法等を開発し、指定薬物制度における規制の有効性等について検証する。 	5,000～7,200	1	3
	危険ドラッグ及び関連代謝物の有害作用解析と乱用実態把握に資する研究 (KC-3)	<ul style="list-style-type: none"> 危険ドラッグとして流通している成分を対象とし、薬物依存性については、行動薬理学的的手法による解析を行い、精神・神経毒性については、培養細胞等を利用した評価結果を得る。 QSAR(Quantitative Structure-Activity Relationship)等コンピューターシミュレーションによる活性予測の結果を得る。 確立した危険ドラッグの乱用実態調査手法に基づき調査を実施し、特に危険性が懸念される新規化合物群の同定を行い、各化合物グループの新規検出系を確立する。 	2,200～3,300	1	3
	店舗販売業者等の管理者に求められる資質の研究 (KC-4)	登録販売者が店舗販売業等における管理者として勤務するために必要とされる能力・経験を明確にし、そのような能力等が確保できるようにするための研修プログラム等を作成する。	2,500～3,800	1	3
	新たなアプローチ方法による献血推進方策と血液製剤の需要予測に資する研究 (KC-5)	<ul style="list-style-type: none"> 献血推進に係るこれまでの研究成果や施策の検証を行いながら、献血者のリクルートや複数回献血への誘導方法等、献血推進に係る効果的な施策モデルを確立する。 National Data Base (NDB)を用いたより精緻な需要予測を行い、解析した結果を踏まえて医療需要の動向を明確にする。 特に、免疫グロブリン製剤等、今後、特に需要の増加が見込まれる血液製剤の需要予測と、そこから考えられる血液製剤の適正使用の方策を明確にする。 	5,000～9,000	1	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
化学物質リスク研究事業 (KD)	毒性発現メカニズムを考慮した、生殖発生への影響を評価する手法の高度化に向けた研究 (KD-1)	<ul style="list-style-type: none"> 生殖発生毒性の有害性発現経路や毒性発現メカニズムの解明や、化審法のリスク評価に役立つことができる高感度で定量評価可能な新規in vivo試験の開発、メカニズムとの関連性が明確なin vitro試験法の創出を成果として想定している。 なお、開発される試験法は単なるスクリーニング試験ではなく、有害性評価値の導出に寄与できる定量的な指標を確立することが求められる。 得られた成果については、化審法における生殖毒性評価への活用が想定される。さらには、より少ないリソースで新規化学物質のスクリーニング評価を行えるよう、現状のスクリーニング試験セットの効率化に資するものも併せて求められる。 成果物について、国内のみならず国際的なコンセンサスを得られるレベルのものであることが望ましい。 	30,000	1～2	3
	甲状腺に対する化学物質の影響を評価する手法の研究 (KD-2)	<ul style="list-style-type: none"> 甲状腺に対する有害性発現経路や毒性発現メカニズムの解明や、国際標準となりうる甲状腺機能への影響を評価する試験法の創出を成果として想定している。 得られた成果は、甲状腺に対する化学物質の影響評価への活用が想定され、将来的に他の内分泌かく乱作用を持つ化学物質の影響評価の確立にも繋がること期待される。 成果物について、国内のみならず国際的なコンセンサスを得られるレベルのものであることが望ましい。 	30,000	1～2	3

研究事業名	研究課題名	求められる成果	課題ごとの予算額 (千円)	課題数	研究期間 (年)
健康安全・危機管理対策 総合研究事業 (LA)	実践を踏まえた災害時健康危機管理支援チーム(DHEAT)の質の向上、構成員、受援者の技能維持に向けた研究 (LA-1)	<ul style="list-style-type: none"> 大規模災害や健康危機管理時の保健医療対応についての訓練による課題抽出及び活動要領の見直し DHEATの応援派遣や受援体制等の課題整理とDHEATの制度評価 各地方公共団体に提供できる大規模災害や健康危機管理時の保健医療対応についての訓練のモデル案の提示 DHEAT構成員の技能維持手法の開発 福祉や防災も含めた災害時や健康危機管理時の地域包括ケアシステムの再構築 	7,000～10,000	1	2
	公衆衛生等の社会医学系分野で活躍する医師の育成・確保に向けた研究 (LA-2)	<ul style="list-style-type: none"> 公衆衛生医師の入職者及び離脱者の属性を整理し、医師の進路決定における公衆衛生の選択理由等の抽出 平時と健康危機管理時の公衆衛生医師の業務等を整理し、公衆衛生分野の進路の選択肢の抽出 	3,500	1	2
	地域保健における保健所に求められる役割の明確化に向けた研究 (LA-3)	保健所の業務の現状把握と課題を整理し、今後の地域保健対策や健康危機管理に向けて、市町村保健センターをはじめとする保健福祉分野の行政機能の役割分担等を整理し、地域保健対策の推進に関する基本的な指針を見直す際の基礎資料を作成する。	4,500	1	2
	気候変動に伴う水道システムの生物障害等リスク評価とその適応性の強化に向けた研究 (LA-4)	<ul style="list-style-type: none"> 水道水源における障害生物の発生メカニズムの把握、早期予測システムの構築 障害生物発生時の効率的な浄水処理プロセスの構築 気候変動に伴う生物障害等リスクに適応した新たな水道システムの提言 	9,000～11,000	1	3
	興行場における衛生的な環境の確保のための研究 (LA-5)	<ul style="list-style-type: none"> 建築物衛生法や建築基準法等の同時に規制を受ける関係法規や海外の規制と比較整理した資料。 興行場法に基づく各都道府県等の条例及び興行場の衛生状況の調査結果。 映画館における4D上映等の新たな装置について、消毒やメンテナンスの必要性について整理した資料。 これらの調査結果を踏まえた興行場に求められる衛生基準への提言。 	7,000	1	3
	旅館及び公衆浴場における伝染性の疾病の範囲の設定のための研究 (LA-6)	<ul style="list-style-type: none"> 旅館業や公衆浴場等の不特定多数が集まる場所で感染する可能性が高い疾病や、入浴において感染する疾患について文献調査を行った結果をまとめた資料。 感染症法に定める感染症分類との整合について検討・整理した資料。 事業者に対して、宿泊拒否及び入浴拒否を行った伝染性の疾病の具体例を調査した結果をまとめた資料。 診断名が確定していない場合における対応について整理した資料。 海外法規と国内法規を比較整理した資料。 これらの調査結果を踏まえた旅館において宿泊を拒むことができる伝染性の疾病や公衆浴場において入浴を拒否する必要がある伝染性の疾病等への提言。 	5,000	1	2
	建物内部の適切な清掃手法等の検証及び確立のための研究 (LA-7)	<ul style="list-style-type: none"> 文献調査や「事業者・職場における新型コロナウイルス対策ガイドライン」で示されている手法の検証を行い、感染症流行時期における建物内部の清掃・消毒の手法、清掃等の箇所、注意点等を体系的に取りまとめた資料。 取りまとめた結果をビルクリーニング事業者等の実務担当者及び感染症・公衆衛生に関する専門家により実行性等を検証した資料。 	6,000	1	2